

不発弾発見時の措置について

平成14年2月、県庁職員が瀬長島沖合の海中から米国製とみられる五インチ艦砲弾三発を県庁に持ち帰った件で、陸上自衛隊の不発弾処理隊は移動可能な二発を撤去したが、残る一発については撤去するには危険が伴うため、土のうを積むなどして同所で保管しました。

不発弾は那覇空港の滑走路から南西約1キロメートルの瀬長島沖合の海中から回収されたもので、二人の県庁職員が漁業調査中、同行していた漁民が「水中に不発弾があり不安がある」と話したことから、付近を調べたところ水深の浅い砂地の海底に不発弾三発があるのを発見、素手で回収したものです。

その後、瀬長島付近の海岸に船を接岸した後、二人は不発弾をタオルで巻いた上で普通乗用車のトランクに積み替えて県庁に戻り、県庁に保管後、那覇署に通報しました。

那覇署員が確認したときは荷車の上にバスタオルが敷かれ、その上にタオルに巻かれた状態で保管されていたといえます。

不発弾を持ち込んだ職員は警察に「漁民から不発弾があり怖いと言われ、不安がっていたので持ち帰った」と話しているという。

- ・県庁職員らによる火薬類取締法違反、船舶安全法違反、危険物船舶運送及び貯蔵規則違反被疑事件の検挙について

2月15日、海中にあった不発弾数個を引き上げ漁船に積み込み、公用車で県庁内に運搬したとして、県庁職員等4名を6月19日那覇地検に書類送致した。
- ・土木業者等に係る火薬類取締法違反及び爆発物取締罰則違反被疑事件の検挙について

平成13年8月28日、豊見城市内の公共工事現場の地中に不発弾を発見しにも関わらず、警察に告知せず、資材置き場に隠匿したとして、土木会社員2名を6月26日那覇地検に書類送致した。

不発弾にさわっちゃダメ! キケン

不発弾って何？
戦争で使われた爆弾が爆発しないで残った物です。いつ爆発するかわからないのでとても危険です。

これ何かわかりますか？
じつは、不発弾なんです。

こんなキケンなことがありました！

①小学生が畑で不発弾を見つけました。先生は石ころだと勝手に職員室に保管していましたが、校長先生が不発弾かもしれないからと、警察に通報しました。

②中学生が石ころだと思い、友達どうして投げて遊んでいたところ、石が(じつは不発弾)割れ、突然、火とけむりが出たため、警察に通報しました。

不発弾にさわっちゃダメ! キケン

不発弾(ふはつだん)ってなに？
戦争で使われた爆弾・砲弾が爆発しないで残った物です。いつ爆発するかわからないのでとても危険です。

これなんだかわかりますか？
実は不発弾なんです!

こんなキケンなことがありました!

①小学生が畑で不発弾を見つけました。先生は石ころだと思って職員室に保管していましたが、校長先生が不発弾かもしれないからと、警察に通報しました。

②中学生が石ころだと思い、友達どうして投げて遊んでいたところ、石が(じつは不発弾)割れ、突然火と煙りが出たため、警察に通報しました。

見つけたら、すぐに警察に110番しましょう!